

日中
あかやま
読字 原田 鏡
No. 905
2019/10/5


日中友好新聞

発行所
日本中国友好協会
〒113-0033 東京都文京区湯島1-1-1
TEL:03-3837-2111

日中友好協会
岡山支部
〒700-8256
岡山県東区3-8-30 511
TEL:086(272)-3010
郵便番号1100
01250-04-3835

日中友好協会
倉敷支部
〒713-8511
倉敷市連島中央1-8-1
(宮地方)
TEL/FAX:086(446)-2711

日中友好協会岡山支部ホームページ
http://rizhongyouhao.jinaa.net
メールアドレス
rizhongyouhao@yahoo.co.jp



9・18柳条湖事件88周年街頭宣伝

侵略と加害の歴史を語り続け

「戦争への道」を阻止しよう！

日中岡山支部 小林軍治



起きた日からちょうど88年になります。日本中国友好協会は、毎年7月7日の盧溝橋事件から9月18日の柳条湖事件までを「不再戦・平和友好期間」と定め、全国各地で街頭宣伝や学習会を開いています。

日中岡山支部は、天満屋アリスの広場で「柳条湖事件（満州事変）88周年」日中不再戦は憲法9条を生かす道」と書かれた横断幕と日本中国友好協会の旗及び「安倍9条改憲NO！3000万人署名」の旗を立てて宣伝しました。

参加者は、河井理事長、真田支部長、小林事務局長、理事の曾田さん、今岡さん、中国帰国者の山根さんの6人でした。マイクを持った曾田理事、河井理事長は、ビラの内容を中心に話しました。私は、通行中や商店街の人々に次の3点を訴えました。

- ① 中国、日本ともに忘れてはならない日

今日は、88年前の1931年に中国の奉天（現在の瀋陽）駐留の日本軍が、鉄道爆破事件を起こし、これを中国側の仕業にみせかけて、中国東北部への戦争を始めた日です。そして翌32年には、かいらい「満州国」を作りあげました。中国社会では「勿忘 九・一八」と呼んで忘れられない日です。

その後日本軍は中国全土に侵略を拡大し、1945年8月15日のアジア・太平洋戦争の敗戦の日まで、約15年間戦争をつづけました。この侵略戦争で中国人をはじめアジアの人々2000万人、日本人310万人の命が奪われました。9月18日は、日本人にとっても忘れてはならない日です。

- ② 日中友好（日中不再戦）の心を育む

文化活動の大切さ

戦争の一因に、相手国を正しく知らないことがあげられます。中国の歴史や現状を理解するために取り組んでいる文化活動（中国映画を見る会、太極拳講習会、中国語講座、中国料理教室、きりえの会、中国百科検定など）と中国旅行の大切さを強調しました。

- ③ 憲法9条にもとづく平和外交（対話）を！

安倍首相は、7月の参院選で自民、公明、日本維新などの「改憲勢力」が3分の2を割ったにもかかわらず、内閣改造直後の記者会見で「憲法改正を必ず、成し遂げていく」と明言しました。私たちは、侵略と加害の歴史を語り続け「日中不再戦は憲法9条を生かす道」との立場から、「軍勢力や核の抑止力」によるのではなく、「憲法9条にもとづく平和外交（対話）」

を重視すべきであると運動を続けてきました。それだけに、9条に自衛隊を明記する改憲を決して許してはならないと決意しています。現在、私たちのために災害救助などで奮闘している自衛隊が、今度は大手を振って米軍と一緒に海外で戦争（殺し、殺される）することになるからです。私たちは、戦後74年間、憲法9条が自衛隊員の命を守ってきたと思っています。「戦争への道」を阻止するために「3000万人署名」を広げに広げ「安倍改憲」を阻止しようと力を込めて訴えました。

ビラ150枚配布

約一時間の行動で表には「日本と中国、世界平和のために」と、裏側には、自らの加害体験を告白した人々の思い「人間が人間であることを許さない戦争」「憲法9条をゆがめるのは戦争をするためだ」などと書いているビラ約150枚をくばりました。

なお、岡山民報の坪井さんが取材に来てくれました。

中国映画を見る会 第5回

- ・11月24日(日)
- ・10時～
- ・岡西公民館

「マンハント」

原題: 追捕・2017年
「君よ憤怒の河を渉れ」1976年の映画
のメモ

今日9月18日は、関東軍による満州侵略のきっかけとなった柳条湖事件が

岡山中国百科検定委員会が始動

第7回中国百科検定が12月8日(日)、岡山国際交流センターを会場に行われます。一人でも多くの受験生を掘り起こしたいと、取り組みを担当する岡山中国百科検定委員会がたちあがりしました。

担当は河井理事長、真田支部長、曾田理事、犬飼理事(倉敷)の4人です。第1回を8月24日に行い、2回(9月1日)3回(24日)と続けてきました。その中で、岡山県下で中国語履修のある教育機関をリストアップしました。リーダーである曾田理事を中心に、その教育機関の担当者あてに、ご案内とパンフレットを郵送しました。

次に、直接お会いして、より詳しい説明と、ポスターなどを手渡すために、各学校を訪問することになりました。

9月18日に最初の訪問行動として、河井理事長と真田が、岡山商科大学付属高校の張先生を訪ねました。張先生は留守でしたが、上田先生(洛陽で1年間日本語を教えていた)が対応して下さいました。次に、岡山市立後楽館高校の郝先生にお会いし、生徒に働きかけて下さ

るとお返事をいただきました。次に、岡山県立岡山南高校を訪問しましたが、ちょうど体育祭の予行演習をしていて、担当の姚先生は留守でしたので、事務所にポスターなどを預けてきました。南高校へは後で小林事務局長が話しに行かれます。

9月24日の中国百科検定委員会の後、河井理事長と真田で、岡山県立岡山東商業高校を訪問しましたが、光岡先生は留守ということで、事務所にポスターなどを預けてきました。

また、岡山県立総社南高校は犬飼理事が担当して下さいます。曾田理事は、津山の美作大学へ訪問予定です。

真田



龍爪開拓団跡と「雪上屯」

青木康嘉

第六次龍爪(りゅうそう)開拓団は、佳木斯(ジャムス)と牡丹江(ぼたんこう)の間で、ロシアに向かう虎頭(とつ)なる鉄道が連結している林口(りんこう)駅から一つ南に位置する龍爪駅(現在は無い)付近にあった。当時の地名で言えば、東安省林口県龍爪郷である。標高五百メートルの龍爪溝嶺東側の緩傾斜地帯で「龍の爪」の地形からそう呼ばれた。近くに「龍爪河」が流れている。拓務省の技師が軍の飛行機で調査し、良い土地と牧場に適しているとしてこの地を選んだ。一九三七(昭和一二)年先遣隊が出発し、翌年本隊が入植した。龍爪開拓団(団長和田章蔵)には、濶州第六次龍爪開拓団の足跡』によると、延べ一二五四人が入植した。山形県や京都・大阪・兵庫を初め近畿各県・岡山・島根・鳥取・山口など一四府県出身者で構成されている村で、開拓団本部(村役場)・国民学校・東亜緬羊牧場・畜産学校・種鶏場・加工場・国立種馬場・龍爪神社・青年塾・女塾などがあつた。岡山県出身者は、龍爪駅近くの日の出郷・春日郷・上岡山郷と林口駅近くの八幡郷に居住していた。記録によれば、岡山県出身者は二二九人いた。一戸あたり、水田・畑を合わせて、一二町歩六反の土地配分を受けている。

今年の夏、私自身六度目の龍爪開拓団跡地へ訪問した。小林軍治先生や高見英夫さんが住んでいた「日の出部落」

は、現在「龍爪四隊」と呼ばれる。その地元住民が訪問客である我々を熱烈に歓迎してくれた。夜の地元住民との交流会では総勢二八名集まって心温まる懇親会が今回も開催されたことは小林軍治先生の文章で紹介があった。

私は、龍爪開拓団の最も西に位置する地域に「雪上屯」と表示されているのが五度目の訪問時に気になっていた。この地は、「上岡山部落」にあたる。「日の出部落」より西二キロ地点である。周囲は、水田が広がる。上岡山部落」は、一二世帯・五〇人が住んでいた。

この地に生まれ、一九八八(昭和六三)年に訪中団一行として「雪上屯」を訪れた船越美智子(九二歳)に聞いた。

雪上屯と地名が残っているのは、雪上猛・雪上千歳さん家族がいたからです。雪上猛さんは、大正元年生まれで、先遣隊として入植しました。龍爪屯のあるポプラ並木から西面一帯に広がる水田は、雪上猛さんが中心となつて水田班を指導しました。牛馬を使つて耕作し、川から水路を引き、米の品種改良などを実行した米造りの専門家だつたと思う。そこで、住民に尊敬されて戦後も名前が残ったのではないかと推測される。

雪上猛さんは、昭和二〇年七月根こそぎ召集で、朝鮮半島へ派遣されたが、九月には帰国している。ソ連参戦後、雪上千歳さんは長男(五歳)と長女(二歳)の手を引き、山中を逃避

行した。栄養失調のため山中で長女を亡くした後、横道河子で捕まり、収容所に入った。長男を連れて引き揚げたのは翌年六月の事だつた。

今回その「雪上屯」を訪れた。地元住民の范立国さん(六八歳)に聞き取りをした。

「一九七三年両親と遼寧省から引越してきた。雪上さんは、戦後の一九八〇年代に夫婦二人で訪ねてきて、私の家に昔住んでいたといった。その家は一九九〇年代に取り壊された。」

雪上夫妻が龍爪開拓団を訪問したことはない。きつと船越美智子さんらが訪れたことと勘違いされているのだろう。雪上」の由来は知らなかった。私達の訪問に、范立国さんは嫌な思ひはされてなかつたようだ。また、来てくださったと固い握手をして別れた。



雪上夫妻

次の新聞発送作業は

10月11日(金)午後1時半から
民主会館2階で行います。
前回お手伝いくださった方です。

岡林 田内 今小 真曾 竹